

平成28年度「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」

スタンダードリスト（対象科目・プログラム一覧表）

[平成28年4月1日版]

- ◎本リストは、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の対象となる授業科目・講座・個別プログラムの平成28年度の一覧表である。平成26・27年度については、平成26年度版・平成27年度版を参照のこと。平成26・27年度版には載っているが本年度版には載っていない科目・プログラム等があるが、過去に取得した単位・参加したプログラムにも相当のポイントが与えられる。
- ◎本プログラムはポイント獲得で修了証に至るしくみである。本リストには、対象授業科目等のポイント数が示されている。ポイントは原則実稼働時間10時間で1である（授業科目は1単位につき1.5ポイント、現地実習は原則1.5日で1ポイント）。これを参考に、本プログラム各ステップの修了を目指してもらいたい。
- ◎本リストは、大学コンソーシアム石川に加盟する県内全高等教育機関の学生にオープンにされているもの、及び県内高等教育機関に共通して存在するもので構成されている。ただし、趣旨に合致するものであれば、各高等教育機関の学生のみが受講できる授業科目（教養・専門・大学院の別を問わない）・講座・個別プログラムであっても、本プログラムの修了証申請時に各ステップ各ブロックの対象科目と見なすことができる。趣旨に合致していることが確認できた各高等教育機関の授業科目等については、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で別途、「読み替えリスト」として公表する。
- ◎本リストには予定のもの・仮称のものも含まれるため、随時更新していく。更新されたリストについては、大学コンソーシアム石川及び「学都いしかわ・グローバル人材育成システムの構築」のHP上で公表する。

ステップ1（基礎）のスタンダードリスト

◎基礎スキル 趣旨：フィールドワークの基本スキルの獲得（このブロックのポイントは必修ではない）

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	課題演習Ⅰ（フィールドワークの基礎と実践）（2単位）	前期	金沢星稜大学	3
	課題演習Ⅰ（フィールドワークの基礎と実践）（2単位）	後期	金沢星稜大学	3

◎第1ブロック 趣旨：石川への理解を深める

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体）	ポイント数（予定数）
シティカレッジ 開講科目	石川県の市町（2単位）	前期	金沢大学（石川県）	3
	石川県の行政—いしかわの行政が目指すもの—（2単位）	後期	金沢大学（石川県）	3
	いしかわ新情報書府学 in 能登（1単位）	前期・集中	金沢大学	1.5
	金沢の歴史と文化—金沢市内の文化施設とその役割—（2単位）	後期	金沢大学（金沢市）	3

◎第2ブロック 趣旨：企業・地域などについて学び、フィールド教育によって行動力を養う

太字は 実際に地域に入って実習を行う「ステップ2（行動力発展）対象科目」となるもの

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体）	ポイント数
シティカレッジ 開講科目	里海体験実習 in 能登半島 （1単位）	前期・集中	金沢大学	1.5
	里山体験実習 in 能登半島 （1単位）	前期・集中	金沢大学	1.5
	実践アントレプレナー学（2単位）	後期・集中	金沢大学（機関開講）	3
	防災・福祉まちづくり実習 （1単位）	前期・集中	北陸学院大学	1.5
個別プログラム	能登島丸かじりフィールド教育講座	9月	石川県立大学	1.5

	民泊型フィールド実習（能登町）	6月	石川県立看護大学	3
	県内博物館等へのボランティア支援による人材派遣プログラム	（未定）	金沢学院大学	（未定）
	フィールド教育プログラム	未定	北陸学院大学	（未定）
	災害ボランティアスキルアップ研修	11月～12月	北陸学院大学	1
	創造工学演習 ～からくりコンテスト in サイエンスヒルズこまつ	前期	石川高等工業専門学校（小松市）	（3）
	スポーツマネジメント演習～七尾・和倉でのサッカーイベントマネジメント実践～	（未定）	北陸大学（七尾市等）	（3）
	課題解決型フィールドスタディ～奥能登インターンシップ～	9月	金沢星稜大学（能登定住・交流機構）	3
各高等教育機関で実施されるもの	インターンシップ（事前・事後研修・報告会があるもの、及び単位になっているもの）	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる
	インターンシップ（事前・事後研修・報告会がないもの）			
	「地域課題研究ゼミナール」採択ゼミ			
	「地域貢献型学生プロジェクト」採択プロジェクト			
	★「地域課題研究ゼミナール」「地域貢献型学生プロジェクト」不採択ゼミ・プロジェクト（地域に入っの実習とプレゼンが確認できるもの）			

* ★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。一度審査を経てクリアした授業科目・講座・個別プログラムは、別表にして提示する。

* ステップ2対象科目・個別プログラムは本来はポイント数3以上で、事後の報告会を必要とするが、3ポイント以下であっても複数の授業・個別プログラムに参加することで、同等の力がつくと見られるものもゴシック太字にしてある。ただし、これらの授業・プログラムで事後の報告会が行われていない場合は、別途審査委員会の側で報告会を設定し、審査の対象にする。

*（ ）のついたポイント数は前年度の実績を参考に記してあり、実際の募集の際に確定となる。

* 個別プログラムのいくつかは実施高等教育機関で単位になるものがある。詳細は随時わかり次第追加していく。

◎第3ブロック 趣旨：国際力（異文化理解・グローバル思考・外国語コミュニケーション等）の基礎を養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
シティカレッジ開講科目	国際協力と地域のグローバル化（2単位）	後期	金沢大学（JICA）	3
個別プログラム	学都石川グローバルビジョン養成講座 *内容がインターンシップなので、特例としてステップ2対象とする	9～10月半ば募集／10～11月実施	大学コンソーシアム石川（諸企業団体）	3
	かなざわ国際みらい塾	5月～7月	金沢青年会議所	3
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で開講している卒業要件外の中上級レベル外国語演習／講座 ★各高等教育機関で実施している短期海外語学研修	単位認定の如何や募集時期などの詳細は各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる

* ★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。一度審査を経てクリアした授業科目・講座・個別プログラムは、別表にして提示する。

◎ステップ3（国際力実践） 趣旨：国際力を実践的に養う

区分	授業科目名（単位数）・講座名・個別プログラム名	開講時期・募集時期（予定）	実施主体（連携自治体・団体等）	ポイント数
個別プログラム	海外インターンシップ（タイ王国）	4～5月募集／8・9月実施	大学コンソーシアム石川	6
	海外インターンシップ（ベトナム）	4～5月募集／9月実施	大学コンソーシアム石川	6

	国連スタディビジット・プログラム	10月1～22日募集 ／2・3月実施	石川県	6
	タイランド国立チェンマイ大学研修	8・9月	石川県立看護大学	6
	トビタテ留学 JAPAN「地域人材コース」：いしかわの明日の人材を育成する実践的留学プログラム支援事業（略称：石川プログラム）*	第6期：10月末募集 締切予定／29年度 留学開始予定 （第5期3月末募集 終了）	大学コンソーシアム石川	6
各高等教育機関で実施されるもの	★各高等教育機関で実施している派遣留学・私費留学 ★各高等教育機関で実施している海外インターンシップ	単位認定の如何や募集時期などの詳細は 各高等教育機関によって異なる。		実稼働時間によってポイント数が異なる

*トビタテ留学 JAPAN「地域人材コース」石川プログラムは、留学準備プログラムと実践プログラムが含まれているので、これに採用されて全プログラムを修了すれば、ステップ1の第2・第3ブロックに各6ポイントを付与し、第2ステップ対象にもする。

*★印は、修了証の申請時に、受講した内容のわかる資料（シラバス、プログラム、ガイダンス資料など）を提出し、審査委員会による審査を受ける必要がある。一度審査を経てクリアーした授業科目・講座・個別プログラムは、別表にして提示する。

【ボランティア活動に対するポイント付与について】

学生が自主的に参加するボランティア活動にも、下記の条件①②を満たす場合には、下記のルールでポイントを付与します。

条件

- ①各高等教育機関で開講されるボランティア活動に関する授業科目や講座（一般を対象とした公開講座を含む）、あるいは自治体・NPOなどの講習等を受講したことがあること。（修了証審査の際に確認の問い合わせをする。）
- ②ボランティア活動に従事したこと、その時間数、及び従事した活動内容が証明できること。（金沢市が行っているような証明証の発行など。書式は自由。具体的な活動内容については活動記録などでもよい。）

ルール

ポイントは最大3ポイント（30時間）とし、その内容によってステップ1の第2ブロックもしくは第3ブロックに配当する。また、30時間以上の実習に相当する内容の場合は、ステップ2にも該当することとし、活動内容からポイントを第3ブロックに配当した場合でも特例としてステップ2に該当するものとする。

【一般向け公開講座のポイント付与】

各高等教育機関の地域連携センターなどでは、地域の一般の人々向けのさまざまな公開講座を開講しており、学生が参加できるものも少なくないので、「地域一般向けの公開講座」を趣旨に合致していればポイントを付与する「各高等教育機関で開講される科目・講座・個別プログラム」の「講座」の一種として扱うこととし、ポイントを付与する。ただし、「受講登録し出席回数を確認できること」が条件である。

【過去にさかのぼっての読み替え】

本プログラムには平成23～27年度に各高等教育機関で開講された授業科目（教養・専門・大学院の別を問わない）・講座・個別プログラムを含めることができる。平成26・27年度に関しては、「読み替えリスト」が作成されているが（一部高等教育機関では未作成）、それ以外でも趣旨が合致すれば含めることができる。本リストを参考に、過去に受講した授業科目等を一度みなおしてみて、もし申請が可能なようなら、申請してみてほしい。

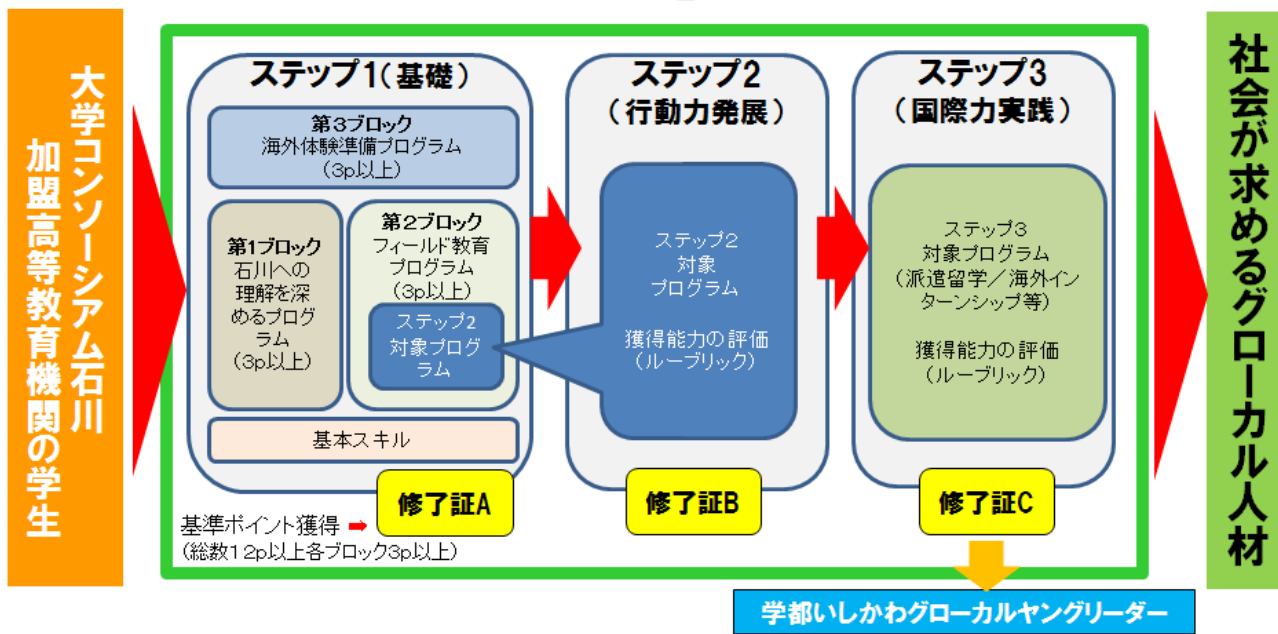
- ◎「学都いしかわグローバル人材プログラム」の平成28年度前期の登録申請は、4月8日（金）～5月14日（土）
- ◎「学都いしかわグローバル人材プログラム」の平成28年度前期の修了証申請は、4月8日（金）～5月31日（月）

問い合わせ先：大学コンソーシアム石川
〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1番
1号 しいのき迎賓館3階
Tel076-223-1633／メール gakuto@ucon-i.jp
URL： <http://www.ucon-i.jp/>

参考：「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」の概要

「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」は、現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。一定のレベルに達するごとに修了証を出し、その能力を証明します。修了証は、就職活動の際、獲得した資格の一つとして履歴書等を書くことができます。

「グローバル人材育成プログラム」概要イメージ図



◎本プログラムは、地球規模の視野を持ちながら地域課題に主体的に取り組み解決できる人材（課題解決型グローバル人材）を育成するための、大学コンソーシアム石川（以下 UCI と略す）とその加盟高等教育機関等が実施する科目や各種教育プログラムを組み合わせた高等教育機関横断の大型教育プログラムです。

◎本プログラムでは、「課題解決型グローバル人材」が獲得すべき能力として「発見力」「分析力」「展開力」「行動力」「国際力」の5つの力を養成します。5つの力の詳細とそのレベルは、ルーブリック（学習結果のパフォーマンスレベル・獲得すべき能力レベルの目安を数段階に分けて記述した学習達成度評価基準の一覧表）によって明示されています。ルーブリックはUCIのHPに掲載しています。

◎本プログラムは「基礎」「行動力発展」「国際力実践」の3ステップで構成し、各段階を修了するごとに、UCIより「修了証」を発行します。修了は、年2回、学生からの「修了証申請」を受けて判定します。最終目標であるステップ3を修了した学生には「学都いしかわグローバルヤングリーダー」の称号を授与します。

◎修了要件は、

- ステップ1
- ①基準ポイント（総数12ポイント、第1・2・3ブロックから各3ポイント）の獲得
 - ②スタンダードリストに掲載されている科目・講座・個別プログラムからの1ポイント以上の獲得（本リストに掲載されているものであれば、各機関で実施のものでもかまわない）
- ステップ2
- ①ステップ2該当の科目・個別プログラムに参加していること
 - ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均レベル2.5以上、行動力平均3.0以上
- ステップ3
- ①ステップ3該当の科目・個別プログラムに参加していること
 - ②ルーブリックによる達成度評価が、全体平均レベル2.8以上、行動力平均3.0以上、国際力平均3.0以上